

コンピュータ部が「WRO Japan2022 中国地区予選会」で優勝

7月30日(土)に専門学校岡山情報ビジネス学院で開催された「WRO Japan2022 中国地区予選会」にコンピュータ部の生徒が出場しました。WRO(World Robot Olympiad)は、世界75カ国以上の国と地域の小中高生が参加してロボットプログラミング競技を競う国際大会です。

1年生3チームがROBO MISSIONのミドル競技に出場し、2年生1チームがROBO MISSIONのエキスパート競技シニア部門に出場しました。

予選会当日は、学校に集合しロボットやプログラムの調整をしてから会場に向かいました。会場到着後はコースで練習をして競技に臨みました。

直前まであきらめることなく調整を行った結果、ROBO MISSIONのミドル競技では1チームが3位になり、ROBO MISSIONのエキスパート競技シニア部門では優勝することができました。優勝した2年生のチームは8月に開催される「WRO2022Japan 決勝大会」に出場することが決まりました。



【出場した生徒の感想】

- ロボットを作りプログラムで動かすという新しいことに挑戦し、先輩たちのご指導の中、仲間と協力してロボットやプログラムを作りました。その結果、3位になることができました。この大会ではランダム要素があり、その要素に対応することに苦勞しました。この経験を生かして次の大会に向けて限られた時間の中、できるだけのことをしていきたいと思ひます。
- 私はこの大会に出場して、様々な形のロボットを競技前の試走の時に見ることができました。他の高校のロボットが競技開始と同時に大きくトランスフォームしたときには、自分たちでは発想することもできないロボットだったので今後のロボット作りの参考になりました。
- 出場するまでの準備期間、多くのトライ&エラーを重ねる中で、課題に対して体系的に対応する能力が身につきました。結果として優勝することができましたが、準備を計画的に進めることができませんでした。この反省をもとに、次の大会では先を見通して計画的に物事を進めていきたいです。